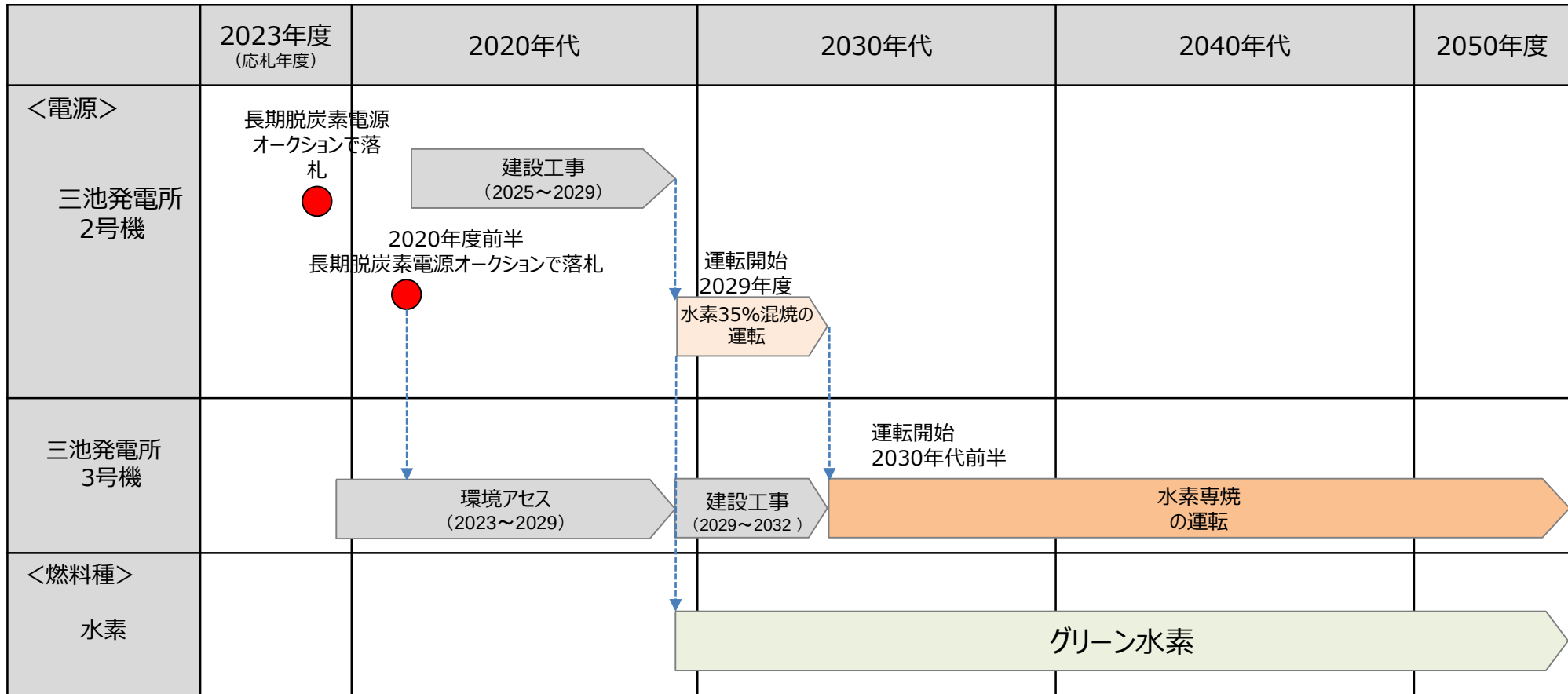
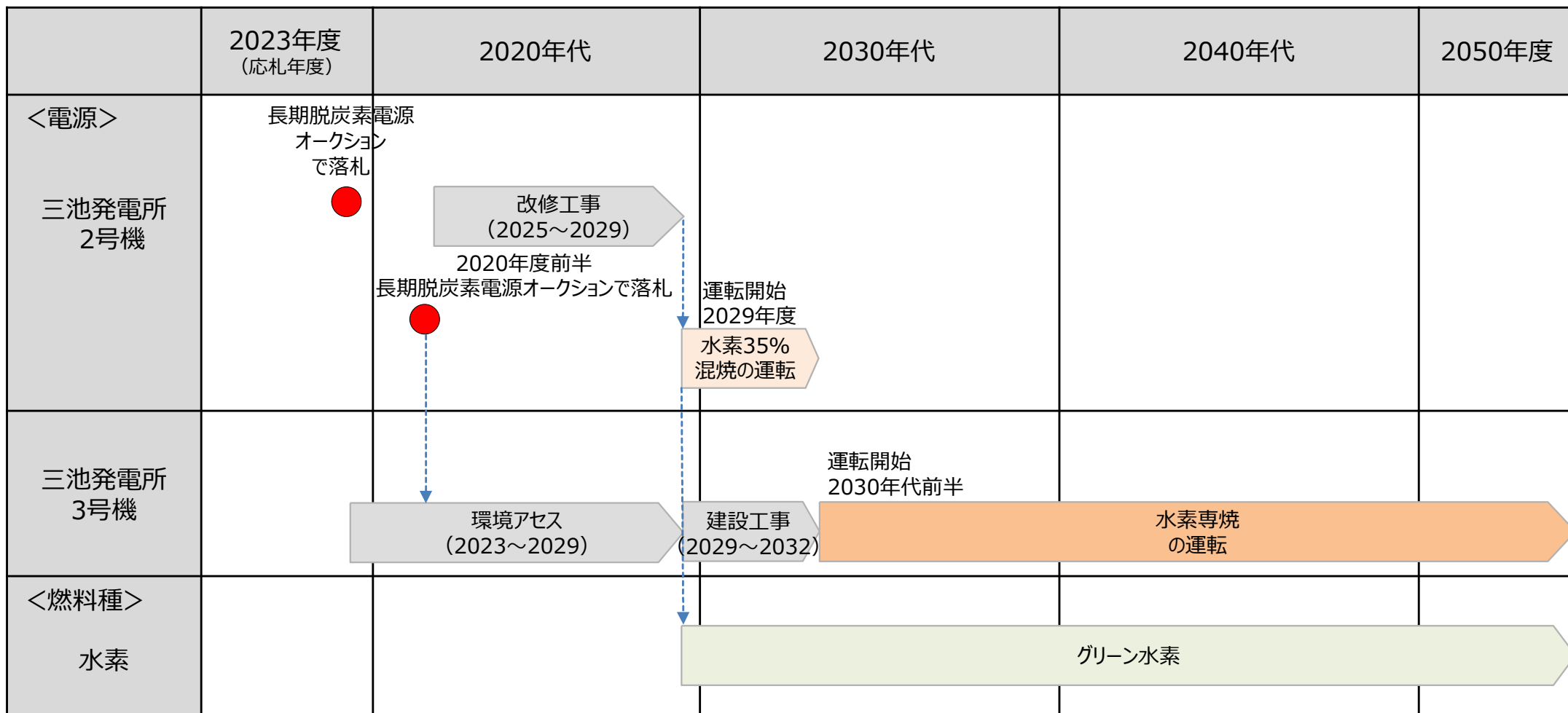




<前提条件>

- ✓ 既存の技術で現在の石炭火力発電所を水素混焼設備に改修し、35%混焼プラントを稼働させたのち、水素専焼プラントを建設し、目標の100%水素火力発電所を実現する。
- ✓ 長期脱炭素電源オークションでの落札やサプライチェーン制度及び拠点整備制度等の適用を通じた適切な投資回収の確保。
- ✓ 既に実用化されている混焼技術と水素精製技術の導入による早期の水素火力発電所の実現を目指す。
- ✓ 再生可能エネルギーを活用したグリーン水素を製造し、その水素を利用した発電設備を稼働させ、2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略に貢献する。
- ✓ 上記の方法でグリーン水素の調達ができない場合、FIT非化石証書または非FIT非化石証書（再エネ指定）を購入し、水素を製造する。



<前提条件>

- ✓ 既存の技術で現在の石炭火力発電所を水素混焼設備に改修し、35%混焼プラントを稼働させたのち、水素専焼プラントを建設し、目標の100%水素火力発電所を実現する。
- ✓ 長期脱炭素電源オークションでの落札やサプライチェーン制度及び拠点整備制度等の適用を通じた適切な投資回収の確保。
- ✓ 既に実用化されている混焼技術と水素精製技術の導入による早期の水素火力発電所の実現を目指す。
- ✓ 再生可能エネルギーを活用したグリーン水素を製造し、その水素を利用した発電設備を稼働させ、2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略に貢献する。